

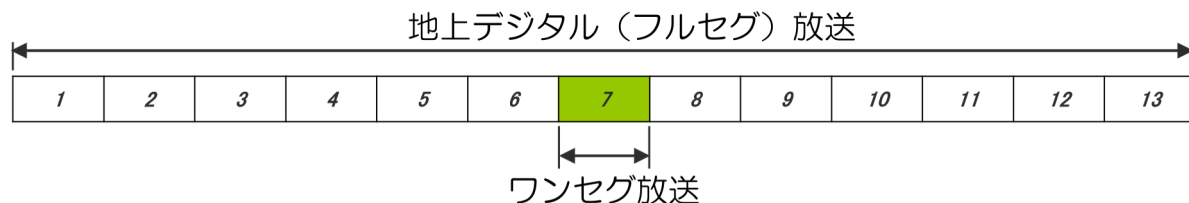
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物につかないように、また手で触れないように注意してください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると破損、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やイスなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

## テレビ受信について

- ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合必ずスキャン操作をしてください。スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
- スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
- 本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。
- 建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

### <<ワンセグとは>>

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページ（<http://www.dpa.or.jp/>）をご覧ください。放送エリアのめやすは（<http://dpa-tv-area.jp/>）にてご確認ください。



フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

### ワンセグについての注意

放送エリア以外の地域では視聴できません。必ずご使用する地域で放送局のスキャンをして受信できる放送局を設定してください。放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承ください。受信状況が最も良くなるようにアンテナの設定を調整してください。

## <<TVの設定>>

本製品をはじめてご使用になる前に、下記の方法で地上波デジタルワンセグ放送を受信するためのチャンネル設定を行って下さい。使用する地域で受信可能な放送局を自動的に選局して記憶いたします。(スキャン操作) 移動したときや引っ越しなどで受信地域が変わった際にも再度設定してください。スキャンを行う時は受信状況の良いアンテナ設定後行ってください。

### チャンネル設定 (スキャン操作)

※アンテナの向きは受信の良い位置に調整してください。

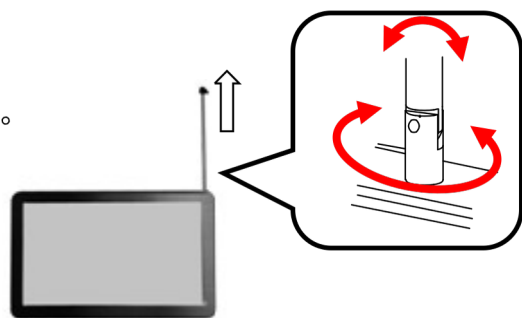
#### ①アンテナの準備

本体の右上についているアンテナを引き延ばしてください。

※アンテナの向きは受信良い位置に調整してください。

#### <注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。



①アンテナを引き延ばす

#### ②チャンネル設定 (スキャン操作)

(1) 「メインメニュー」の「テレビ」アイコンをタッチします。

(2) 安全のための警告の内容を確認しましたら「確認」をタッチし、ワンセグTVの操作画面を表示させます。

(3) ワンセグTVの操作画面の「設定」 ボタンをタッチします。

(4) 地域ボタンを「A11」または現在の地域～都道府県の順にタッチします。

(5) 「スキャン」ボタンを押し、お近くの受信可能な放送局を選局します。スキャン後、探し出した受信可能な放送局を抽出します。

(6) 「適用」を押し受信可能な放送局を記憶させます。

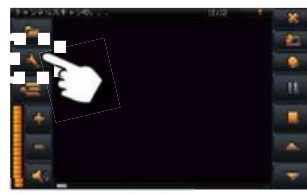
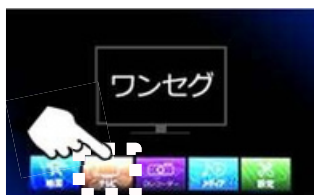
(7) チャンネルリストからお好みのチャンネルを選び視聴してください。

また、チャンネル「+、-」ボタンで選局もできます。

②-(1) 「テレビ」をタッチ

②-(2) 「確認」をタッチ

②-(3) 「設定」 をタッチ



②-(5) 「スキャン」をタッチ

②-(6) 「適用」をタッチ



チャンネル  
設定完了

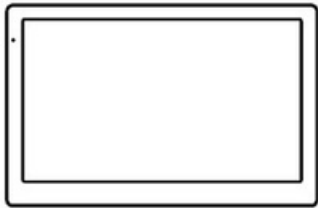
スキャンが終わると  
「スキャン完了」  
が表示

「ALL」又はお住まいの「地域」をお選んで「スキャン」をタッチする。  
※放送局がうまく取れない場合は、ALLを選んでスキャンしてください。

# 4. 商品構成

本機を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。

## ① 本体



## ② 車載用DCアダプター



## ③ 車載用吸盤スタンド (スタイラスペン付)



## ④ 吸盤ベース板



## ⑤ 取扱説明書 2冊 (本体操作説明書／ナビゲーション操作説明書)



## ⑥ スタイラスペン (車載用吸盤スタンドに装着)



## ⑧ 滑り止めシート

本製品の緩衝用包装材としてクッションシートを付属しています。  
このシートは、滑り止めシートとしてお使いいただけます。

### <ご注意>

炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では長時間放置したりしないでください。  
はり付きや色移りになることがあります。  
ご使用後は、取り外して日陰など60℃以下のところで保管してください。



滑り止めシート

※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

# 5. 各部の名称

電源ランプについて  
充電中 : 赤点灯  
充電完了 : 消灯  
※電源オン時緑点灯

③ドライブレコーダー用  
MicroSDカード差込口

①電源ボタン ②上書き禁止ボタン  
(ドライブレコーダー用)

上面図

④電源ランプ

左側面図

⑤イヤホン  
ジャック

⑥メディア用  
MicroSDカード  
挿入口

⑦ミニUSBポート  
(充電用)

正面図

アンテナ

③ドライブレコーダー用  
MicroSDカード差込口

裏面図

⑧アンテナ

⑩スピーカー

⑨カメラ

⑪ハード  
リセット  
ボタン

## <注意>

MicroSDカード挿入口が2ヶ所あります。入れ間違いの無い様、十分に注意願います。

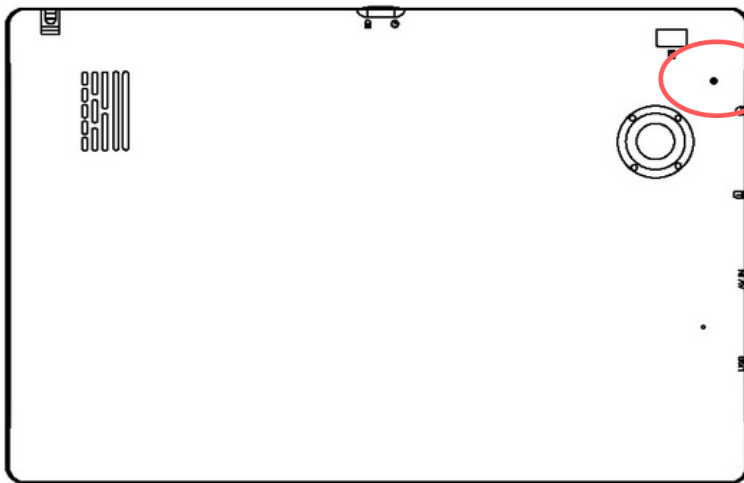
メディア用MicroSDカードをドライブレコーダー用挿入口に挿入するとメディアデータが消去されることがあります。



# 6. リセット機能

## 【ハードリセット】

本機になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、細いペンやクリップ等でハードリセットボタンを軽く押し、リセットを行ってください。



ハードリセットボタン

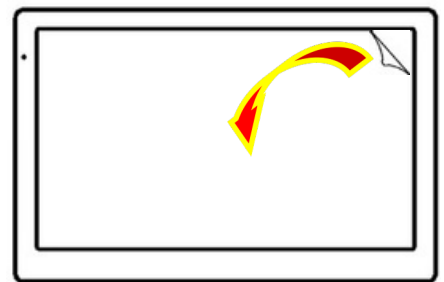
※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、かならず上記のハードウェアリセットを行ってください。

## パネルの保護シート（フィルム）について

出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護シートが貼られています。

ご使用になる際は、  
剥がしてお使いください。

貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



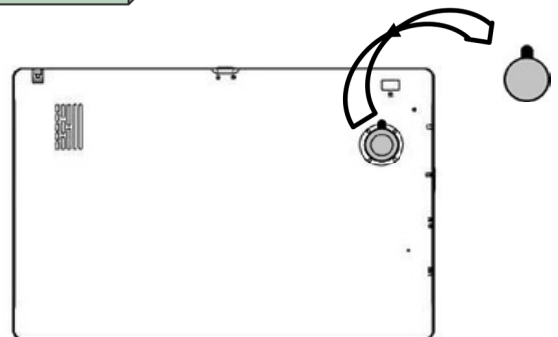
保護シートをはがす。

## カメラレンズの保護シート（フィルム）について

出荷時に裏面のカメラレンズ部に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護シートが貼られています。

ご使用になる際は、  
剥がしてお使いください。

貼ったままにしていると、録画画面が曇ったり、ゆがんだりします。



保護シートをはがす。

# 7. 車への取付け

## 前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

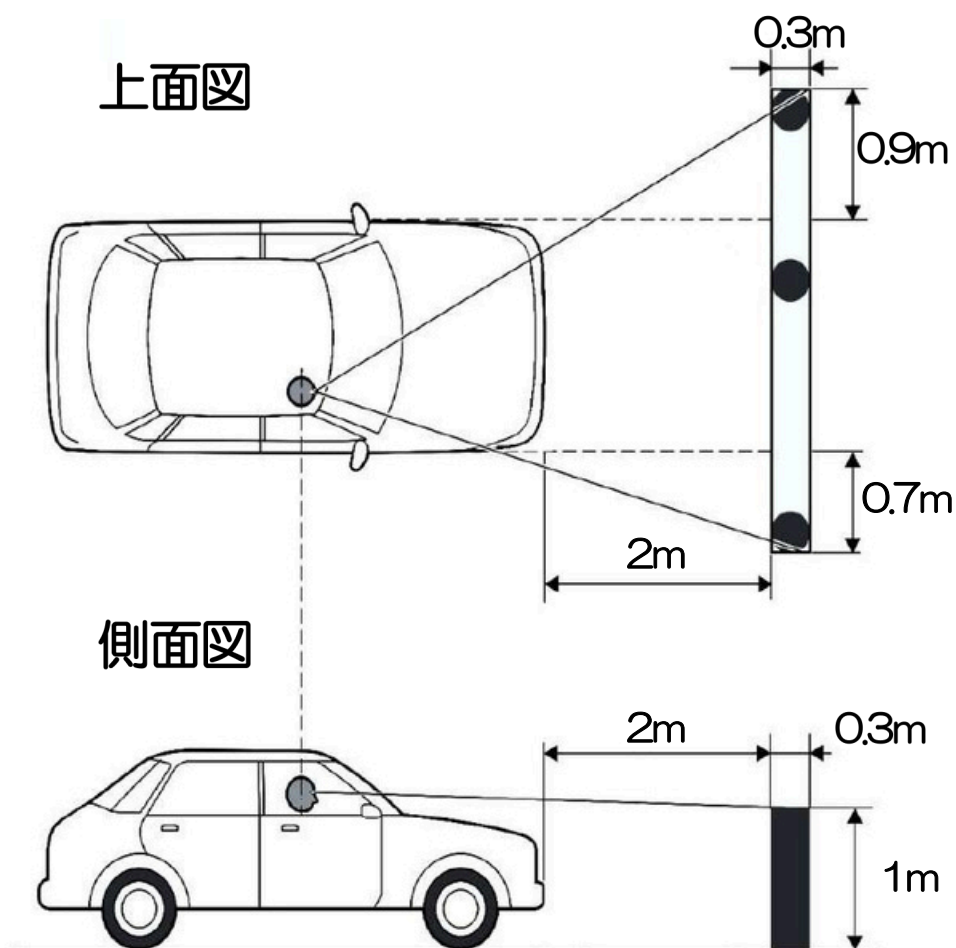
### 前方視界基準

#### ●対象車両

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）  
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

#### ●基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。



※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

## 取付けについてのご注意

- 付属のスタンドを使用してください。
- エアバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。  
(取付けについては安全を考慮して、ディーラーや販売店にご相談ください。)
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 下記のような場所には取り付けないでください。

※スタンドが落下するおそれがあります。

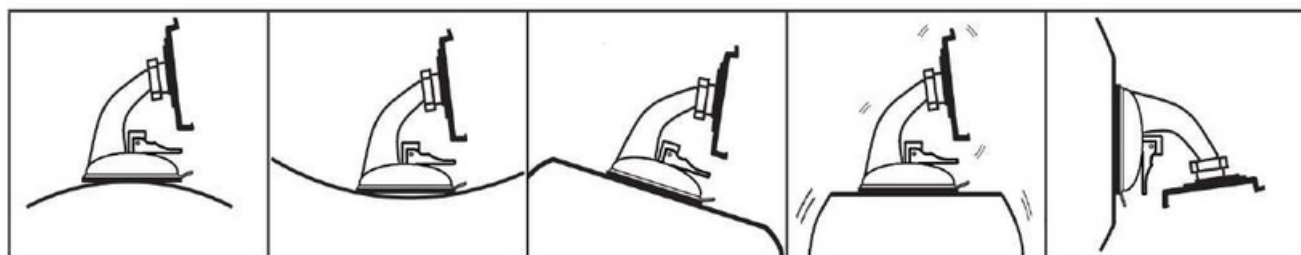
・密着しない曲面  
例)凸面

・密着しない曲面  
例)凹面

・傾いた面

・不安定な面

・垂直な面



- ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、**前方視界を十分に確保**でき  
安全基準を満足できる位置を決定後貼り付けてください。
- 吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラス  
等にあたらぬことを確認してください。
- 吸着ベース板を貼付け位置が決定したら、貼付け面のほこりや油分などを十分に  
ふき取ってから貼り付けてください。
- 両面粘着テープの貼付けは一回のみです。**貼り直しはしないでください。**  
(貼付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。)
- 両面粘着テープは貼付け直後は接着強度が弱いため、24時間以上おいてから  
製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、  
貼付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープ等が**確実に取付いていることを**  
**確認**してからご使用ください。
- 直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。**  
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。
- ドライブレコーダーを使用されるときは、ドライブレコーダーモードにして  
映像範囲と画面の視認角度を調整の上、設置位置をお決めください。

### 《注意》

ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる場所でご使用になる場合  
ご使用にならないときは外して高温にならないところで保管してください。  
また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。  
落下による故障の原因になる場合があります。

## スタンドの取付け方法

運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

### ①吸盤ベース板の貼付け

貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。  
(貼付け後は24時間以上置いてください。)



### ②スタンドの組立て

・デバイスホルダーの4個の穴にスタンドのフック部を入れる。

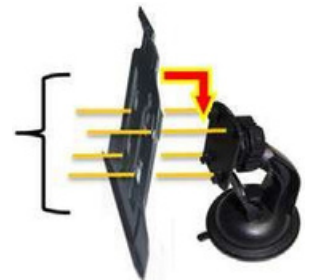
・スタンドのフック部にカチッとロックするように、デバイスホルダーを矢印の方向に両手でスライドさせる。

※デバイスホルダーは強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強め押してください。

※デバイスホルダーとスタンドが組立てて納入されている場合は、フック部がしっかりロックされていることを確認下さい。

※デバイスホルダーをスタンドから外してお使いの際は、逆方向に両手でスライドさせてはずしてください。

ホルダーの穴をスタンドのフックに合わせる。



デバイスホルダーを矢印の方向にスライドさせる。



スタンドのフック部



### ③スタンドの固定

吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定する。

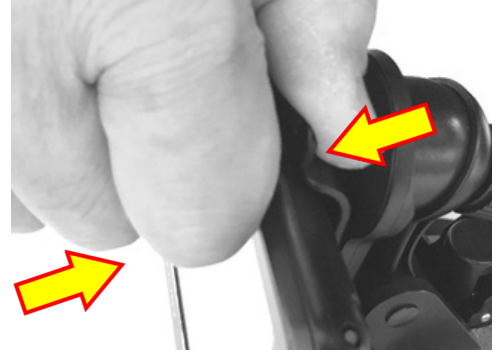
※形状、イラストは実物と異なることがあります。



※形状、イラストは実物と異なる  
ことがあります。

#### ④製品の固定

スタンドの下のツメに合わせ製品本体をカチッとロックする。  
(上のツメがカチッとロックしたことを確認してください。)



※上のツメを親指で、はさむように強く押ししてください。  
液晶パネル面には触れないようにしてください。

下のツメ部を合わせ上をロックする。

#### ⑤角度調整

固定ナットをゆるめ、  
お好みの角度に調整して  
固定ナットをしめる。



※形状が異なる  
場合がございます。

#### ⑥設置

ドライブレコーダーのカメラの角度、  
見やすい角度になるように角度に調整して、  
製品の下部がダッシュボード面に当たるように  
固定ロックナットを締めてください。

製品が動かない程度にしめてください。

(過度にしめすぎないようにしてください。  
ロック機構が壊れる場合があります。)



製品の下面が  
当てるように  
固定する。

## 《 注意 》

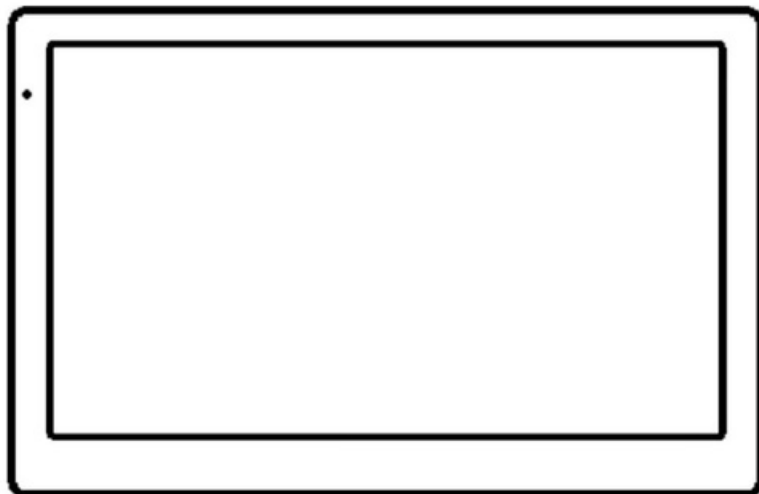
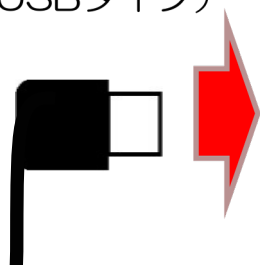
運転前に必ず、吸盤、固定ナット、粘着テープ、ロックが  
確実に取付いているか確認の上ご使用ください。

※万が一、落下等による液晶、タッチパネルの破損がございましたも、  
補償対象外となりますのであらかじめご了承願ください。

## 電源配線の方法

①DC電源アダプターの端子側面の電源ソケット（miniUSBタイプ）に接続する。

充電用端子  
（miniUSBタイプ）

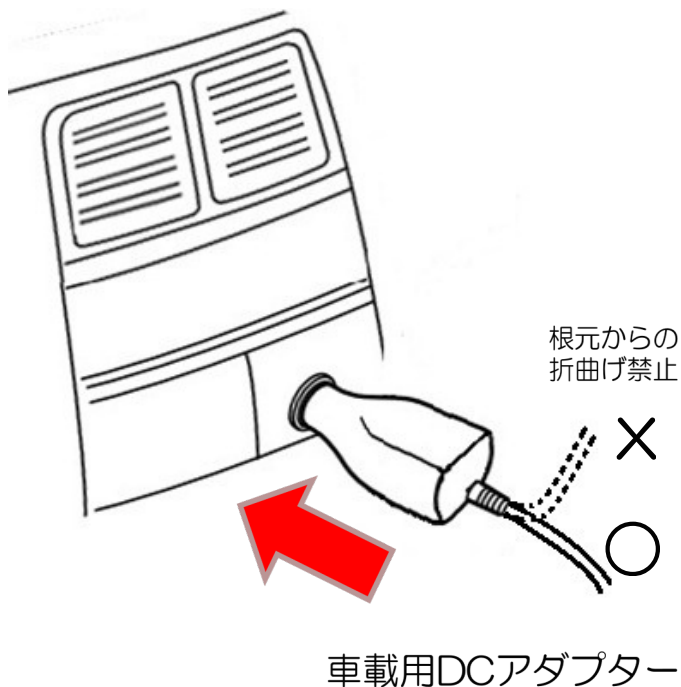


※本体への接続時、ソケットにストレスがかからないように接続してください。  
プラグやソケットの接続不良になる場合があります。

② DCアダプターを  
車のシガーソケットにさす。

※シガーソケットの中に異物がないことを確認してから挿入してください。  
※DCアダプターは真直ぐにゆっくりさしてください。  
※奥までしっかりとさして下さい。  
※配線は運転に支障内容に配線してください。

※配線する場合は、アダプターの根元から折り曲げないようにしてください。  
断線、発火の原因になることがあります。



根元からの  
折曲げ禁止

車載用DCアダプター

※形状が異なる場合がございます。

# 8. 本体電源の取扱方法

電源のON/OFFの操作方法についてご案内いたします。

## 1. 車載用DCアダプターの使い方

本機は、お車のシガーソケット（DC12Vまたは24V）より付属アダプターを使用して、本体に5Vを供給し駆動します。

## 2. イグニッションキー連動電源ON/OFF機能について

本機は、電源の連動ON/OFF機能（オートスタート機能）を搭載しています。お車のシガーソケットに接続した場合、イグニッションキーのON/OFFで本体の電源も自動的にON/OFFができていへん便利です。

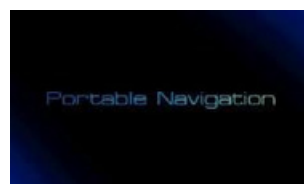
※シガーソケットの電源ON/OFFがイグニッションキーに連動しているお車に限ります。

※アイドリングストップ車の場合、エンジン再始動時に電源がオフする場合がございます。

## 3. 電源の入れかた／切りかた

### <電源を入れるとき>

- ①電源ボタンを長押しする。  
（約3秒間押し続ける。）
- ②起動画面が表示されます。
- ③しばらくすると  
設定メニューが表示されます。



起動画面



設定メニュー

### <電源を切るとき>

- ①電源ボタンを長押しする。  
（約3秒間押し続ける。）
- ②終了画面が表示され、  
約5秒後に自動的に切れます。
  - ・「電源オフ」を押すとすぐに電源が切れます。
  - ・「スタンバイ」を押すとスタンバイモードになり再度電源を入れるとき早く立ち上がります。
  - ・「キャンセル」を押すと元の画面に戻ります。



スタンバイ

電源オフ

キャンセル

※ナビ使用時に電源ボタンを短押しした場合、メニュー画面に戻りますが、他のモードに切り替える場合はナビを終了してから切り替えてください。

## 4. 充電のしかた

- ①車載用DCアダプターを接続します。（充電中は電源ランプが赤点灯）
- ②電源ボタンOFFにして充電を開始します。
- ③電源ランプが消えれば充電完了です。（フル充電時間約4時間）

※ご使用環境により変動します。

※充電残量が0になった場合、アダプターをつないでも電源が立ち上がらない場合があります。その際は電源OFF状態で、充電を十分におこなってから電源をいれてください。

# 9. ワンセグTV

## 9-1. チャンネル設定（スキャン操作）

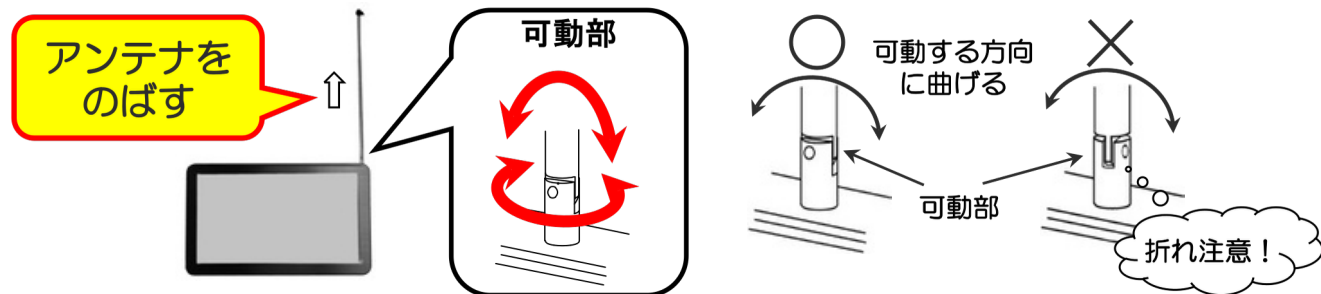
はじめてテレビをご覧になる前に、下記の方法でチャンネル設定を必ず行ってください。

①見晴らしの良く受信環境の良いところでアンテナをのばす。

アンテナは上部右側に収納されています。

引き出すときは、まっすぐにゆっくりと可動部が出るまで引き出して下さい。

しまうときも同様にまっすぐにゆっくりと押しこんで下さい。



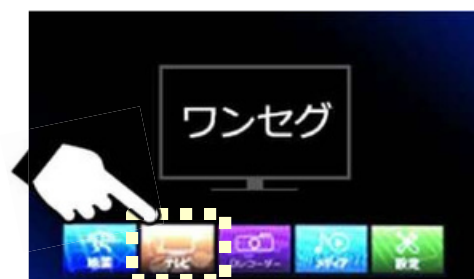
※アンテナの回転方向を確認の上、向きをかえてください。

### <注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。

②「テレビ」をタッチ

メニュー画面から「テレビ」をタッチする。



③「確認」をタッチ

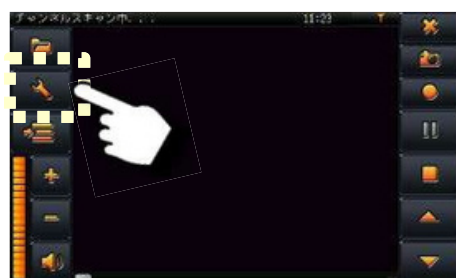
警告文が表示されますので内容を理解して、「確認」をタッチする。



④  をタッチ

お近くの受信可能な放送局を設定するためにスキャン操作を行います。

設定後は、地域が変わらなければこの操作は必要ありません。



※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。



## ⑤ 「地域」を選択

ご使用される地域を選択します。

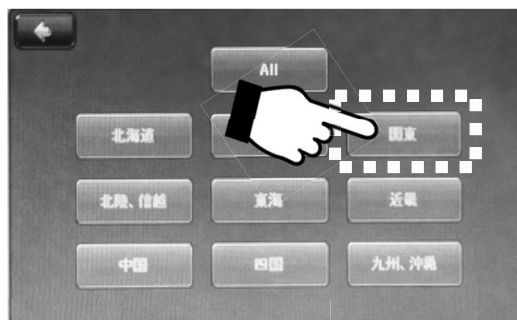
(選択せずにスキャンもできますが、地域を選択するとスキャン時間が短くなります。)

※放送協がうまく取れない場合は、「ALL」を選んでスキャンしてください。

### ⑤-1 「地域」をタッチ



### ⑤-2 地域を選ぶ (例 関東をタッチ)



### ⑤-3 都道府県を選ぶ (例 東京をタッチ)



### ⑤-4 ご地域にある放送局を表示



※スキャン操作後に、実際に受信可能な放送局を表示されます。  
(この時点では受信できない放送局も含まれる場合があります)

## ⑥ 「スキャン」操作

スキャン操作をすることにより、実際に受信可能な放送局をさがし設定します。

※スキャン操作をするときは必ず受信環境のよいところでおこなってください。

受信環境が悪いところでスキャンを行いますと放送局が設定されない場合があります。

### ⑥-1 「スキャン」をタッチ

受信可能な放送局を検索開始します。

### ⑥-2 「適用」をタッチ

スキャン完了後、適用を押すことにより放送局の設定ができます。



チャンネル  
設定完了

スキャンが終わると  
「スキャン完了」  
が表示

お車等で長距離移動の場合、放送局のエリアが変わる為受信できなくなることがあります。  
その際は、再度新しい地域での再スキャン、もしくはALLで再スキャンをおこなってください。

# 9-2. ワンセグTVをみる

## ①チャンネルをかえる

チャンネル変更矢印（▲、▼）をタッチしてお好みのチャンネルに変更します。

- ▲：チャンネル（-）
- ▼：チャンネル（+）



## ②音量を調節する

・音量変更矢印（+、-）をタッチしてお好みの音量に調整します。  
+：音量を上げる  
-：音量を下げる

・ ボタンをタッチすると消音 になります。（音はでません。）



# 9-3 ワンセグTVの各種設定

「 」をタッチすると、各種設定を変更できます。

## <設定内容>

チャンネル：スキャン済みの放送局表示

基本設定：言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕

ビデオ：画面のアスペクト比（画面の縦横比）の設定

情報：バージョン情報

